

学校教育目標

学校図書館は、教育課程の展開に寄与するとともに、児童の健全な教養を育成することを目的とする。

智…深く考え、進んで実行する子
仁…思いやりがある子
勇…明るくたくましい子

読書の好きな児童が多い。図書資料等で調べる学習は、経験に差がある。

学校図書館の目標

読書活動を楽しみ、自ら学ぶ意欲、基礎的な能力を身に付ける。

ねらい

- ①豊かな心情と幅広い知識を身につける。
- ②学び方の学習を充実し、自ら学ぶ楽しさを知り、意識を高める。
- ③目的に応じた情報を選び、課題解決をできる情報活用能力を育成する。

指導の重点

- ①教育課程全体を通して、計画的な読書活動と学校図書館の活用を推進する。
- ②読書科・各教科等の図書館を活用した学習の充実と情報活用能力の育成を図る。
- ③学校図書館教育の推進を図る。

各学年の重点目標

第一学年	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しんで本を読もうとする。 ・図書館に親しんで利用できる。 	第二学年	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な種類の本を読もうとする。 ・図書館を利用した調べ方を知る。 	第五学年	<ul style="list-style-type: none"> ・読書を通して知識を増やし、心情を豊かにする。 ・目的に応じて図書館を適切に利用する。
第二学年	<ul style="list-style-type: none"> ・読み物を進んで読もうとする。 ・図書の扱い方や借り方などがわかり正しく利用できる。 	第四学年	<ul style="list-style-type: none"> ・読書の幅を広げ、進んで読み、読書量を増やす。 ・進んで図書館を使って調べようとする。 	第六学年	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じ本を選んで読もうとする。 ・様々な学び方を知り、課題解決能力を高める。

具体的な取り組み

〔各教科〕

- 図書館機能を活用し、課題解決学習、調べ学習、個別指導やグループ学習の場とする。
- 情報の収集、処理等、情報活用能力を養う。
- 読書指導を行い、読書習慣、態度を養う。

〔読書科〕

- 「読み聞かせ」や朝読書等による読書の推進し、習慣化させる。
- 図書館資料を活用した「調べる学習」を行い、整理・分析し、表現する力を養う。

〔総合的な学習の時間〕

- 学び方や考え方を身につける。
- 課題の解決、探究に主体的に取り組む。
- 体験学習、課題解決学習などを通じ、自ら学ぶ意思、態度、能力を育成する。

〔特別活動〕

- 図書委員会を中心に、図書館を運営し、読書活動推進をする。
- 特別活動の中で積極的に図書館を活用する。

〔特別の教科 道徳〕

- 図書資料を通して、様々な生き方や考え方に接する中で、道徳的心情を培う。

〔家庭・地域との連携〕

- 年5回の読書週間による読書習慣の推進。
- ボランティアや公立図書館との連携。

朝読書の推進

推進組織の確立・充実

図書環境の整備・充実